

看護ちば号外

発行 公益社団法人千葉県看護協会
千葉市美浜区新港249-4
TEL 043-245-1744
URL <http://www.cna.or.jp>



令和2年度 定時総会開催

今年度の定時総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開催規模を縮小して開催いたします。会員の皆様におかれましては、委任状等にてご対応いただき、総会への参加は極力お控えいただきますよう、切にお願い申し上げます。

期 日 令和2年6月23日(火) 13:30～15:15

会 場 東京ベイ幕張ホール(JR京葉線「海浜幕張駅」より徒歩10分)

令和2年度公益社団法人千葉県看護協会定時総会プログラム

- 13:00 受付
- 13:25 オリエンテーション
- 13:30 開 会
会長挨拶
- 13:35 議長団・議事録署名人選出
- 13:40 審議事項
- 第1号議案 名誉会員の推薦について
 - 第2号議案 令和元年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について
 - 第3号議案 令和2年度改選役員及び推薦委員の選任について
 - 第4号議案 2021年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について
- 14:10 選 挙 令和2年度推薦委員の選任について
- 14:20 報告事項(※)
- ・令和2年度千葉県看護協会事業計画・予算等について
 - ・令和元年度理事会、職能委員会、常任委員会等報告
- 15:00 令和2年度推薦委員の選挙結果報告及び承認
- 15:05 旧役員挨拶
- 15:15 閉 会

※報告事項は、定時総会要綱または定時総会終了後ホームページを御確認ください。

令和2年度千葉県看護協会 職能集会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

第1号議案 名誉会員の推薦について

長年にわたり、看護事業に功績があり、協会事業に貢献された次の会員を名誉会員に推薦したい。

松 永 敏 子

【推薦理由】

昭和41年4月、千葉県職員（保健師）として保健所・衛生部・健康福祉部等に勤務し、公衆衛生や県民の健康づくりにおいて功績をあげた。同時に、全国保健師長会において千葉県支部長、理事、会長として保健師活動の充実と人材育成に努めた。

日本看護協会においては、平成11年にワーキンググループ「研究支援小委員会」委員、平成12年からの3年間に特別委員会「保健所保健活動モデル事業推進委員会」委員として看護職の質の向上と保健所保健師の活動の推進に貢献するとともに、平成23年からの3年間は地区理事として協会活動の推進に尽力した。

県看護協会においては、昭和58年からの4年間の保健師職能委員をかわきりに平成17年からの2年間は副会長として、平成19年の1年間は専務理事として、さらに平成20年から6年にわたって会長として看護職の定着・確保、在宅医療・看護の推進、医療安全、災害対策等看護職の役割の発揮と資質向上の推進に向けて手腕を発揮し、看護協会をけん引し続けた。看護職の定着・確保対策では、第1次看護職員定着確保推進計画を立案して計画的に事業を推進するとともに、看護職の厳しい職場環境を改善するための取り組みとしてWLB推進事業を実施。平成17年には、訪問看護の推進のために千葉県委託事業である「訪問看護推進事業」を実施、さらに、平成21・22年には訪問看護ステーションの事務の集約化により訪問看護の充実を図ることを目的とした「訪問看護支援事業」に取り組み、訪問看護事業所の運営の支援を行った。併せて、新人看護師が従事するのは困難とされていた訪問看護に、病院と同様に従事できるよう「訪問看護新人教育ガイドライン」を作成・実践し、県内に多い小規模訪問看護事業所への支援を行い、在宅医療・看護の充実・推進を図った。医療安全対策として、医療関係者の連携促進と意識向上を目的とした「医療安全大会」を開催し、研修・シンポジウム等実施。併せて医療安全に係る標語募集を行うなど看護職から医療関係者に広く働きかけて、医療安全の意識向上・醸成に結び付けた。平成26年、会長職の任期満了後は監事として協会事業の適切な運営と後輩育成のために継続的に支援を行った。

【表彰歴】

厚生労働大臣表彰 日本看護協会会長表彰 千葉県知事表彰

第2号議案 令和元年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

項目	事業	内容 (新規事業：太ゴシック)																																																																																																													
①教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	1.生涯教育 (1)生涯教育 66 コース(うち 1 コースは県委託研修)	1.生涯教育 (1)生涯教育 66 コース+追加 2 コース+委託 11 コース-中止 4 コース 75 コース終了 ・追加研修：2 コース ①スキン-テア(1/23) ②災害ナースの第1歩~災害看護の基礎知識~ (12/24~25) ・委託研修：11 コース ・中止研修：4 コース (新型コロナウイルス感染症の影響による) ①高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(3/12) ②災害医療と看護(実践編) (3/3~3/4) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会 (2/17) ④職場適応を支えるメンタルヘルス (2/25~26)																																																																																																													
	分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 19 コース ・医療安全管理者養成研修 ・医療から在宅へのバトンタッチ ・ スキン-テア研修 ・ 増え続ける感染症の予防と対策 ・ 基礎英語力向上研修 ・ 医療安全の基本を学ぼう ・ 感染予防の基本を学ぼう ・ 看護職を対象とする禁煙支援研修	研修受講状況 <table border="1" data-bbox="775 622 1452 846"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>協会研修</th> <th>委託研修 (県・市)</th> <th>総コース (実施分)</th> <th>総定員数 (人)</th> <th>総受講者数 (人)</th> <th>受講率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年</td> <td>63</td> <td>12</td> <td>75</td> <td>8,016</td> <td>6,600</td> <td>82.3</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>55</td> <td>10</td> <td>65</td> <td>7,994</td> <td>7,321</td> <td>91.6</td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>54</td> <td>11</td> <td>65</td> <td>8,862</td> <td>8,197</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>50</td> <td>3</td> <td>53</td> <td>8,200</td> <td>7,408</td> <td>90.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="775 875 1452 1361"> <thead> <tr> <th>研修分類</th> <th>コース</th> <th>定員数 (人)</th> <th>受講者数 (人)</th> <th>受講率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育</td> <td>21</td> <td>1,636</td> <td>1,256</td> <td>76.8</td> </tr> <tr> <td>分類2：JNA ラダーと連動した継続教育</td> <td>41</td> <td>5,690</td> <td>4,737</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育</td> <td>5</td> <td>260</td> <td>269</td> <td>103.5</td> </tr> <tr> <td>分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実</td> <td>2</td> <td>180</td> <td>135</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>分類5：資格認定教育</td> <td>6</td> <td>250</td> <td>203</td> <td>81.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75</td> <td>8,016</td> <td>6,600</td> <td>82.3</td> </tr> </tbody> </table> 分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 (19 コース+県委託研修 1 コース+追加 1 コース) 21 コース終了 <table border="1" data-bbox="775 1473 1452 2018"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>定員数 (人)</th> <th>受講者数 (人)</th> <th>受講率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理者養成研修</td> <td>100</td> <td>82</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>スキン-テア研修</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>スキン-テア研修【追加開催】</td> <td>50</td> <td>29</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>増え続ける感染症の予防と対策</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>96.7</td> </tr> <tr> <td>基礎英語力向上研修</td> <td>90</td> <td>30</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>医療安全の基本を学ぼう (准看)</td> <td>30</td> <td>15</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>感染予防の基本を学ぼう (准看)</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>看護職を対象とする禁煙支援研修</td> <td>40</td> <td>24</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>医量依存度の高い小児を地域で支える活動(公開研修 医療から在宅へのバトンタッチ 3 日目と合同)</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>33.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	協会研修	委託研修 (県・市)	総コース (実施分)	総定員数 (人)	総受講者数 (人)	受講率 (%)	令和元年	63	12	75	8,016	6,600	82.3	平成30年	55	10	65	7,994	7,321	91.6	平成29年	54	11	65	8,862	8,197	92.5	平成28年	50	3	53	8,200	7,408	90.3	研修分類	コース	定員数 (人)	受講者数 (人)	受講率 (%)	分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	21	1,636	1,256	76.8	分類2：JNA ラダーと連動した継続教育	41	5,690	4,737	83.3	分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	5	260	269	103.5	分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実	2	180	135	75.0	分類5：資格認定教育	6	250	203	81.2	合計	75	8,016	6,600	82.3	研修名	定員数 (人)	受講者数 (人)	受講率 (%)	医療安全管理者養成研修	100	82	82.0	スキン-テア研修	50	49	98.0	スキン-テア研修【追加開催】	50	29	58.0	増え続ける感染症の予防と対策	60	58	96.7	基礎英語力向上研修	90	30	33.3	医療安全の基本を学ぼう (准看)	30	15	50.0	感染予防の基本を学ぼう (准看)	30	20	66.7	看護職を対象とする禁煙支援研修	40	24	60.0	医量依存度の高い小児を地域で支える活動(公開研修 医療から在宅へのバトンタッチ 3 日目と合同)	15	5
年度	協会研修	委託研修 (県・市)	総コース (実施分)	総定員数 (人)	総受講者数 (人)	受講率 (%)																																																																																																									
令和元年	63	12	75	8,016	6,600	82.3																																																																																																									
平成30年	55	10	65	7,994	7,321	91.6																																																																																																									
平成29年	54	11	65	8,862	8,197	92.5																																																																																																									
平成28年	50	3	53	8,200	7,408	90.3																																																																																																									
研修分類	コース	定員数 (人)	受講者数 (人)	受講率 (%)																																																																																																											
分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	21	1,636	1,256	76.8																																																																																																											
分類2：JNA ラダーと連動した継続教育	41	5,690	4,737	83.3																																																																																																											
分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	5	260	269	103.5																																																																																																											
分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実	2	180	135	75.0																																																																																																											
分類5：資格認定教育	6	250	203	81.2																																																																																																											
合計	75	8,016	6,600	82.3																																																																																																											
研修名	定員数 (人)	受講者数 (人)	受講率 (%)																																																																																																												
医療安全管理者養成研修	100	82	82.0																																																																																																												
スキン-テア研修	50	49	98.0																																																																																																												
スキン-テア研修【追加開催】	50	29	58.0																																																																																																												
増え続ける感染症の予防と対策	60	58	96.7																																																																																																												
基礎英語力向上研修	90	30	33.3																																																																																																												
医療安全の基本を学ぼう (准看)	30	15	50.0																																																																																																												
感染予防の基本を学ぼう (准看)	30	20	66.7																																																																																																												
看護職を対象とする禁煙支援研修	40	24	60.0																																																																																																												
医量依存度の高い小児を地域で支える活動(公開研修 医療から在宅へのバトンタッチ 3 日目と合同)	15	5	33.3																																																																																																												

①教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

分類2：JNA ラダーと連動した継続教育 36 コース

①ニーズをとらえる力 4 コース
 ・**視る!聴く!育てる!後輩育成**

②ケアする力 14 コース
 ・災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～
 ・高齢者施設における感染管理
 ・糖尿病患者セルフケア支援
 (基礎編・糖尿病腎症の重症化予防)

③協働する力 8 コース
 ・共に考えよう!2年目として「やりがいのある働き方」
 ・**みる!きく!つなぐ!スキルを学ぼう**
 ・**医療安全基礎～医療事故事例を法律から見てみる～**
 ・**ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう!**

④意思決定する力 3 コース
 ・**患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎**

⑤看護共通 15 コース
 ・フレッシュセミナー
 ・看護研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
 ・**これからの自分のキャリアを考える**

分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 6 コース
 ・**中途採用者の育成を考える**
 ・看護管理者研修

分類2：JNA ラダーと連動した継続教育 (36 コース+県委託研修7 コース+追加研修1 コース-中止3 コース) 41 コース終了

①ニーズをとらえる力 (4 コース) 4 コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
視る!聴く!育てる!後輩育成～コミュニケーションスキルを学ぶ～	50	108	216.0

②ケアする力 (14 コース-中止3 コース) 11 コース終了

③協働する力 (8 コース) 8 コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
共に考えよう!2年目として「やりがいのある働き方」(8回開催)	960	1,013	105.5
みる!きく!つなぐ!スキルを学ぼう!～セルフコーチングの方法とスキルについて学び、自己の成長や後輩育成に活用できる～(3回開催)	300	119	39.7
医療安全基礎～医療事故を法律から見てみる～	80	65	81.3
ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう!	40	51	127.5

④意思決定する力 (3 コース) 3 コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎	80	78	97.5

⑤看護共通 (15 コース) 15 コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
フレッシュセミナー (10回開催) 春 5/21～5/31、秋 10/8～10/25	1,200	1,100	91.7
看護研究Ⅰ	80	29	36.3
看護研究Ⅱ	60	45	75.0
看護研究Ⅲ	30	7	23.3
これからの自分のキャリアを考える～人生100年時代を見据えて～	60	64	106.7

分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (6 コース-中止1 コース) 5 コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
看護管理者研修(8/27～29、9/9・10(台風のため9/15→10/28に変更))	60	88	146.7
中途採用者の育成を考える【公開研修 看護管理者研修と合同】	50	53	106.0
ファーストレベルフォローアップ研修【公開講座】特別講演「共に育つ」	30	22	73.3

①教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 2コース
 ・人を育てる臨地実習

分類5:資格認定教育 6コース
 ・認定看護管理者教育課程
 ファースト・セカンドレベル教育課程
 ・訪問看護師養成講習会
 ・千葉県教員養成講習会

千葉県委託事業(再掲) 11コース

千葉市委託研修 1コース

2.千葉県看護研究学会
 (1)第38回千葉県看護研究学会
 日時:令和2年2月28日(金)
 場所:東京ベイ幕張ホール

3.図書室の管理運営
 (1)図書室の管理運営

(2)資料・文献検索・レファレンス

4.委員会の開催
 (1)事業運営のための委員会の開催
 ①教育委員会 年6回
 ②看護研究委員会 年6回
 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回

分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 2コース(1コース+県委託研修1コース) 2コース終了
 ※教育担当者研修 受講者数・受講率の推移

年度	27年	28年	29年	30年	令和元年
定員(人)	60	60	60	60	60
受講者(人)	60	65	66	57	22
受講率(%)	100.0	108.3	110.0	95.0	36.7

分類5:資格認定教育
 (4コース+4月以降県委託研修2コース)6コース 6コース終了

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育課程 (6/11~7/11、10/11 修了)	80	82	102.5
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル教育課程 (9/30~11/28、2/14 修了)	30	31	103.3
訪問看護師養成講習会 (6/28 終了、11/5、2/19 開催延期)	30	10	33.3
千葉県教員養成講習会 (4/22~1/24 修了)	40	26	65.0

千葉県委託事業(再掲) 11コース終了
 ①千葉県看護教員養成講習会
 ②新人看護師研修(実習有) ③新人看護師研修(実習無)
 ④新人助産師研修(実習有) ⑤新人助産師研修(実習無)
 ⑥実地指導者研修 ⑦教育担当者研修
 ⑧実習指導者講習会(特定分野7日間)
 ⑨千葉県喀痰吸引等指導者養成講習会
 ⑩新生児等からの在宅移行支援研修
 ⑪認知症対応力研修

千葉市委託研修 1コース

研修名	定員数(人)	受講者数(人)	受講率(%)
①認知症対応力向上研修	100	75	75.0

2.千葉県看護研究学会
 (1)第38回千葉県看護研究学会 開催中止
 ・学会参加応募総数400名
 (一般応募者301名(うち県外4名)、看護学生99名)
 ・千葉県看護研究学会の演題申込み数49演題(平成30年度46演題)。

3.図書室の管理運営
 (1)図書室の管理運営
 購入図書31冊、寄贈図書248冊、購入雑誌31誌、寄贈雑誌15誌
 ホームページからの情報提供:図書室専用ページアクセス件数
 トップページ:1,485件、書籍所蔵検索:1,208件、雑誌所蔵検索:86件

(2)資料・文献検索・レファレンス
 図書室利用:延べ573件(うち研修受講者延べ472名)
 文献検索等相談件数:66件、郵送文献複写申込件数2件、
 図書室内文献複写申込件数:182件
 医中誌Webログイン回数:179回
 最新看護索引Webログイン回数:89件

4.委員会の開催
 (1)事業運営のための委員会の開催
 ①教育委員会 (年5回:8/1、9/16、10/8、1/14、3/3 書面)
 ②看護研究委員会 (年5回:8/5、9/12、11/29、1/31、3/17 書面)
 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 (年3回:7/1、9/3、1/10)

②看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

- 1.第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進
 (1)第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進
 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進
 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回
 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲)
 ①「看護ちば」、ホームページ等による広報
 ②各種協会事業を通じた普及
 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回
 (6)看護政策推進のための組織強化事業の推進
 ①組織強化事業推進委員会の開催 年2回
 ②入会の啓発活動
- 2.看護職の労働環境の向上
 (1)ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進
 ①WLB推進部会の開催 年5回
 ②インデックス調査
 ③取組み3年目評価会議の開催
 ④WLB研修会の開催
 ⑤報告書の作成
 ⑥その他 相談窓口等

- (2)ヘルシーワークプレイス推進事業
 ①ヘルシーワークプレイス週間の設置
 ・ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の募集及び決定
 ・研修会の開催
 ・ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の紹介

- 1.第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進
 (1)第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進
 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進
 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (2/3)
 ①第4次看護職定着・確保対策推進事業の進捗状況報告
 ②設定指標の評価(達成4項目:研修参加、訪問看護師数、ふれあい看護体験者数、未就業看護職員の就業者数)
 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲)
 ①「看護ちば」、ホームページ等による広報
 ②各種協会事業を通じた普及
 (5)労働環境改善委員会 年6回(7/10、9/11、10/9、11/13、12/11、2/12)
 (6)看護政策推進のための組織強化事業の推進
 ①組織強化事業推進委員会の開催 年1回(9/2)
 ②入会の啓発活動
 看護学生会長表彰25名、特別講話4校318名、卒業生に向けた入会案内等2,503名
- 2.看護職の労働環境の向上
 (1)ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進
 ①WLB推進部会の開催 4回(7/5、11/13、12/3、12/11)
 WLBワークショップ事業終了にあたり、これまでの事業内容をまとめた報告書作成について検討
 ②インデックス調査 8/13~9/20 3年目3施設
 3施設平均回収率が94.7%
 ③取組み3年目評価会議の開催:12/11 参加者:11名
 各施設とも看護業務内容の改善や職員等に対する制度認知等がアップし、事業終了後も継続して取組み課題を見出しているため、効果が見られた。
 ④WLB研修会の開催
 松戸地区 7/19(38名)
 講演「働き方改革に伴い、改正労働基準法の概要と管理者として気をつけるべき内容について」
 ⑤「看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告・今すぐ活用できる実践集」作成
 ・WLB推進部会(7/5、11/13、12/3、12/11)
 ⑥相談窓口開設(毎週火・木曜日)
 相談件数:訪問2件、電話36件、来所0件
 (30年度:訪問3件、電話・来所75件)
 相談内容と件数
 (医療勤務環境改善支援センターの相談との合計:延107件)

看護管理者(68件)		個人(39件)		
1	WLB推進	25(36.7%)	1 パワハラ	12(30.8%)
2	管理体制づくり	13(19.1%)	2 人間関係	7(17.9%)
3	離職・定着確保	12(17.6%)	3 職場の不满	6(15.4%)
4	パワハラ	8(11.8%)	4 教育体制等	4(10.3%)

相談内訳		年度		
		元年度	30年度	
1. 訪問	取組施設	2	2	
	取組施設以外	0	1	
2. 電話・来所計	取組施設	13	65	
	取組施設以外	23	10	
内訳	電話	取組施設	13	-
		取組施設以外	23	-
	来所	取組施設	0	-
		取組施設以外	0	-

※前年度は、電話と来所別の集計はしていない。

- (2)ヘルシーワークプレイス推進事業
 ①ヘルシーワークプレイス週間の設置
 ・ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の募集及び決定
 ・研修会の開催(再掲 生涯教育で実施)
 ・ヘルシーワークプレイス取組み宣言施設の紹介

②看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

- (3)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県委託) 看護管理アドバイザー
①電話及び来所相談
②派遣
- 3.看護進路相談事業
(1)出前授業(いのちの大切さ教育)
- (2)ふれあい看護体験事業
- (3)進路相談事業
- (4)進路担当教員等への情報提供
- 4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
(1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会(利根地区ほか1地区)
- 5.ナースセンター事業(千葉県委託)
(1)看護職の定着確保に係る実態調査

- (3)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県委託) 看護管理アドバイザー活動日数57日(30年度:70日)
派遣15件(30年度:45件)
電話・来所52件(30年度:60件)

- 3. 看護進路相談事業
(1)出前授業(いのちの大切さ教育) (件、名)

学校別	元年度		30年度	
	施設数	参加者数	施設数	参加者数
中学校	16	1,810	22	2,406
高等学校	7	731	8	1,562
合計	23	2,541	30	3,968

内容:いのちの大切さ ころとからだの話、看護職の仕事、看護職への道、看護技術の体験

- (2)ふれあい看護体験事業 (件、名)

施設数・参加者層	元年度		30年度		増減
	施設数	参加者数	施設数	参加者数	
協力施設数	114	105	105	9	9
実施施設数	104	99	99	5	5
参加者総数	1,797	1,677	1,677	120	120
内	小学生	17	15	2	2
	中学生	263	316	△53	△53
	高校生	1,497	1,333	164	164
訳	大学生	15	4	11	11
	社会人	5	9	△4	△4

実施施設には、介護老人保健施設と介護老人福祉施設の各1施設に計3名の参加あり

- (3)進路相談事業 (件、名)

方法・相談者	元年度		30年度		増減
	件数	件数	件数	件数	
相談件数	43	68	68	△25	△25
内 方 法 別	来所	8	12	△4	△4
	電話	30	50	△20	△20
	メール	5	6	△1	△1
相 内 談 者 別	高校生	2	7	△5	△5
	保護者	9	4	5	5
	一般	26	38	△12	△12
	教員	0	2	△2	△2
その他	6	17	△11	△11	

- (4)進路担当教員等への情報提供

- 4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
(1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
①君津地区 1/17(1年目)
参加者:11名 対象16施設のうち11施設参加(参加率68.8%)
内 容:①講演 組織の中で看護職が果たす役割
一適時調査対策
看護に関する診療報酬を正しく理解する一
②情報交換会
一看護管理者として経営に参画するためには一
②利根地区(2年目)新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- 5.ナースセンター事業(千葉県委託)
(1)看護職の定着確保に係る実態調査

①看護職の定着確保動向調査

対 象	調査期間	回収数	回収率
病院看護管理者	10/16~10/30	173施設	60.1%
フレッシュセミナー 受講新人看護職	10/8~10/25	997名	96.3%
未就業看護職	10/10~10/24	61名	25.6%

②看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

(2)看護職の無料職業紹介

(3)届出制度

- ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理

②とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ(一斉メール等)

③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供

主たる調査結果から
(病院看護管理者)

○離職率

	元年度	30年度	JNA 元年度
常勤看護職員	12.2%	11.6%	10.7%
新卒看護職員	8.4%	6.7%	7.8%

常勤看護職員は0.6ポイント・新卒看護職員は1.7ポイント増

(フレッシュセミナー受講新人看護職)

社会人経験について：ある202名(20.3%、前年度18.5%)
ない759名(76.1%)

やめたいと思ったこと：ある695名(69.7%、前年度71.8%)

やめたいと思った理由：看護職に向いていない37.4%

勤務時間内の仕事が終わらない37.1%

医療事故を起こさないか心配30.6%

(未就業看護職)

○離職理由

元年度		30年度	
1	人間関係 31.1%	1	人間関係 26.4%
2	健康上の理由 19.7%	2	結婚 22.6%
3	結婚 13.1%	3	出産育児子供のため 20.8%
3	転居 13.1%	4	配偶者の転勤 18.9%
3	看護内容への不満 13.1%	5	健康上の理由 13.2%

②看護職の再就業者実態調査

対象：平成30年度千葉県ナースセンター登録の再就業者198名

調査時期：8/5～8/23(回収数：83名 回収率41.9%)

結果：就業先決定の決め手

元年度		30年度	
1	勤務時間	1	勤務時間
2	立地(通勤に便利な場所等)	2	立地(通勤に便利な場所等)
3	看護領域、看護・業務内容	3	看護領域、看護・業務内容
4	休日・休暇制度	4	保育施設
4	家族の支援・同意	5	休日・休暇制度

(2)看護職の無料職業紹介

(名)

利用者別	年度	令和元年度	30年度	増減
eナースセンター利用者数		7,319	6,426	893
新規求人数		2,022	1,926	96
新規求職者数		752	777	△25
紹介者数		369 (延人数387)	345 (延人数411)	24 (△24)
就職者数		369	314	55

(3)届出制度

- ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理

届出状況 (件)

内訳	年度	元年度	30年度	増減
届出者数		1,033	1,026	7
代行届数		695	613	82
代行届出率		67.3%	59.7%	

※代行届の全国平均30%(全国平均と比較し37.3ポイント高い)

②とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ(電話・一斉メール等)

支援対象者469名(前年同期481名)

③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供
情報提供回数：合同就職説明会2回、研修会3回、求人情報2回

②看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

- ④届出者に対する就業支援
- ⑤就業確認 郵送による就業調査
- (4)未就業看護職の就業支援
 - ①看護基礎技術講習会 (5回/月程度開催)
- ②合同就職説明会の開催
- ③訪問看護基礎研修会 (4~5回程度開催)
 - ・ 半日コース 年2~3回 (地域別1回、看護会館1~2回)
 - ・ 1日コース 年2回 (看護会館)
 - ・ 研修会受講後の再就業支援 (再掲)
- ④看護職への求人情報の提供
- ⑤ハローワークと連携した相談ブースの設置 (千葉2回程度/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月)
- ⑥未就業看護師等再就業支援セミナーの開催
- ⑦サテライト事業(千葉版)の推進
 - ・ ハローワークと連携した相談ブースの設置(再掲)
 - ・ 合同就職説明会の開催 (再掲)
 - ・ 再就業支援セミナーの開催 3回/年程度 (ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催)
- ⑧就業相談推進アドバイザーによる施設訪問

- ④届出者に対する就業支援 (電話・メール・面接等)
 - ⑤就業確認 郵送による就業調査 (4~12月届出者) 届出者 376名に配布 回収: 135名 (回収率 35.9%) うち就業者 65名
 - (4)未就業看護職の就業支援
 - ①看護基礎技術講習会 (5回/月程度開催) (名)

実施状況	年度	元年度	30年度	増減
開催回数		61	59	2
参加者数		88	72	16
就業者数		49	44	5
就業率		55.7%	61.1%	

30年度と比較し参加者は16名、就業者は5名増加
- ②合同就職説明会の開催 (年5回)
 - 東葛地区 7/13 求職者6名参加 就業者2名
 - 長夷地区 10/10 求職者5名参加 就業者0名
 - 印旛・利根地区 2/14 求職者12名参加 就業者1名
 - 山武地区 2/20 開催中止
 - 船橋市 1/23 求職者9名参加 就業者1名
 - ③訪問看護基礎研修会 (4回開催)
 - ・ 半日コース 年2回 (看護会館1回、佐倉)
 - ・ 1日コース 年2回 (看護会館)
 (名)

開催場所	コース	開催日	参加者数	就業者数
看護会館	半日	6/20	11	11(14.3%) ※H30年度 14(13.5%)
看護会館	1日	7/18	20	
佐倉市	半日	9/7	12	
看護会館	1日	12/17	34	
合 計			77	

 - ・ 研修会受講後の再就業支援 (再掲)
 - ④看護職への求人情報の提供 (年4回発行)
 - 提供日: 6/10・9/13・12/16・3/27 提供数: 各500部
 - 配付先: 未就業求職者、ハローワーク等関係機関、ナースセンター来所者
 - ⑤ハローワークと連携した相談ブースの設置
 - 出張相談会実績 (名)

ハローワーク	元年度			30年度		
	開催回数	相談者数	就業者数	開催回数	相談者数	就業者数
千葉	22	93 (90)	33	17	69 (60)	19
木更津	11	31 (26)	7	12	29 (27)	6
松戸	24	64 (60)	17	24	67 (59)	17
船橋	12	34 (31)	13	12	32 (29)	13
成田	12	35 (31)	12	12	42 (38)	11
合計	81	257(238)	82	77	239 (213)	66
- ※相談者数は求職者、求人施設、進路相談の合計 ()内は求職者再掲
全相談者は30年度に比べ18名、就業者は16名・就業率は3.5ポイント増加
- ⑥未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 年3回
 - ハローワーク松戸 10/23 求職者5名参加 就業者1名
 - ハローワーク松戸 12/11 求職者12名参加 就業者3名
 - ナースセンター1/22 求職者11名参加 就業者4名
 - (求職者参加総数 28名 就業者8名) ※30年度: 参加者15名 就業者6名
 - ・ 講義内容は、就業先の選択を増やす、看護実践を再確認する、履歴書の書き方等により、再就業への動機づけを図った。
 - ⑦サテライト事業(千葉版)の推進
 - ・ ハローワークと連携した相談ブースの設置(再掲)
 - ・ 合同就職説明会の開催 (再掲)
 - ・ 再就業支援セミナーの開催 3回/年程度 (ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催)
 - ⑧就業相談推進アドバイザーによる施設訪問
 - ・ 2施設訪問

<p>② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業</p>	<p>⑨ プラチナナース研修会</p> <p>⑩ ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認・郵送による調査</p> <p>(5) ナースセンター運営委員会の開催 年1回 ナースセンター運営委員会作業部会 年1~2回</p> <p>(6) ナースセンター事業の広報</p> <p>(7) 関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、ハローワーク等)</p> <p>(8) 看護職への相談支援</p> <p>(9) 看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(10) ナースセンターの維持管理</p> <p>6. 医療・看護における安全対策</p> <p>(1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介</p> <p>(2) 医療安全推進週間の推進</p> <p>① 医療安全大会の開催 日時：令和元年11月10日(日) 場所：幕張メッセ国際会議場</p> <p>② 医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発</p> <p>(3) 医療安全管理者の育成</p> <p>① 医療安全管理者養成研修会(再掲)</p> <p>② 医療安全担当者中央交流会 (年1回：令和2年2月1日(土))</p> <p>③ 医療安全担当者地区交流会 2年目：市川地区、松戸地区 1年目：千葉地区、船橋地区</p> <p>(4) 関係機関等との連携促進</p> <p>(5) 医療安全委員会の開催 年6回</p>	<p>⑨ プラチナナース研修会 9/4 参加者：40名(就業中36名、未就業者4名) 就業者：4名(H30年度参加者64名 全員就業中)</p> <p>⑩ ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認・郵送による調査 671名 回収数：236名(回収率35.2%) 就業者：126名</p> <p>(5) ナースセンター運営委員会の開催 年1回(8/27) ナースセンター運営委員会作業部会 年2回開催(11/5、1/16)</p> <p>(6) ナースセンター事業の広報</p> <p>(7) 関係機関との連携(日本看護協会、中央ナースセンター、ハローワーク等)</p> <p>① ナースセンター事業担当者会議 年1回(5/24)</p> <p>② 都道府県ナースセンター相談員研修 年1回(5/25)</p> <p>③ 都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会(8/29)</p> <p>④ ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議(8/21)</p> <p>(8) 看護職への相談支援</p> <p>(9) 看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(10) ナースセンターの維持管理</p> <p>6. 医療・看護における安全対策</p> <p>(1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介 顧問弁護士による看護ちばへの情報提供(年4回)</p> <p>(2) 医療安全推進週間の推進</p> <p>① 医療安全大会の開催 日時：11月10日(日) 場所：幕張メッセ国際会議場 参加者数：408名(看護職344名84.3%、他職種64名15.7%) テーマ：「地域連携で支える医療安全」</p> <p>ア 医療安全に関する標語表彰式(最優秀賞1作品、優秀賞1作品)</p> <p>イ 特別講演1 「医療機関等の連携による医療安全の推進 ～医療安全地域連携シートの活用～」 講師：赤澤 仁司 氏</p> <p>ウ 特別講演2 「医療事故調査制度～現状・再発防止の提言、 特に多職種連携の観点から～」 講師：木村 壯介 氏</p> <p>エ 臨床工学技士による機器の正しい取扱い方法の説明と体験 オ 医療関連企業の展示・体験コーナー(14社)</p> <p>② 医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">応募総数</td> <td>1,621</td> <td>1,517</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>看護職</td> <td>1,110 (68.5%)</td> <td>1,053 (69.4%)</td> </tr> <tr> <td>他職種</td> <td>511 (31.5%)</td> <td>464 (30.6%)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">応募施設数</td> <td>105</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>・入賞作品 最優秀賞「間違いを言える環境 言う勇氣」 優秀賞「安全は、笑顔と対話とチーム力」</p> <p>・ポスター等による普及啓発 ポスター掲示状況の調査結果 回答数173病院うち97.1%掲示 (令和元年度「看護職の定着確保動向調査(看護管理者対象)」)</p> <p>(3) 医療安全管理者の育成</p> <p>① 医療安全管理者養成研修会(再掲)</p> <p>② 医療安全担当者中央交流会(年1回)(R2年2/1) 参加者数：76名(専従28名、専任18名、兼任27名、その他3名) 内容：講演1「患者の声を聴く～千葉県医療安全相談センターの実績より～」 講演2「医療環境における電波の影響と管理方法」 グループワーク「医療安全管理業務の課題解決方法について」</p> <p>③ 医療安全担当者地区交流会 2年目(実践編)： 市川地区(9/10：台風災害後のため延期、2/22：中止) 松戸地区(11/22：参加者数32名：看護師30名、他職種2名) 1年目(基礎編)： 千葉地区(1/22：参加者数49名：看護師43名、他職種6名) 船橋地区(7/9：参加者数80名：看護師64名、他職種16名)</p> <p>(4) 関係機関等との連携促進</p> <p>(5) 医療安全委員会 年6回(5/24、7/26、9/27、11/7、1/24、3/6 書面)</p>			令和元年度	平成30年度	応募総数		1,621	1,517	内訳	看護職	1,110 (68.5%)	1,053 (69.4%)	他職種	511 (31.5%)	464 (30.6%)	応募施設数		105	95
		令和元年度	平成30年度																		
応募総数		1,621	1,517																		
内訳	看護職	1,110 (68.5%)	1,053 (69.4%)																		
	他職種	511 (31.5%)	464 (30.6%)																		
応募施設数		105	95																		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③訪問看護の推進に関する事業</p> <p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託）</p> <p>(1)訪問看護推進事業</p> <p>①訪問看護推進協議会の開催</p> <p>②訪問看護ステーション等に関する総合相談</p> <p>(2)定着促進対策事業</p> <p>①訪問看護の普及啓発に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム（市原地区、安房地区） ・パンフレットの配布 <p>②訪問看護師指導者育成研修会（基礎編・実践編）</p> <p>(3)再就業促進対策事業</p> <p>①訪問看護再就業支援事業に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション見学体験事業（30名） ・訪問看護就職フェア 年1回 ・訪問看護病院経営者(看護管理者)講習会 年1回 <p>2.ナースセンター事業（千葉県委託）（再掲）</p> <p>(1)訪問看護基礎研修会（再掲）</p> <p>3. 訪問看護出向事業（千葉県委託）</p> <p>(1) 訪問看護ステーション等出向支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネート業務 	<p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託）</p> <p>(1)訪問看護推進事業</p> <p>①訪問看護推進協議会の開催：3/17（書面開催）</p> <p>②訪問看護ステーション等に関する総合相談：105件</p> <p>相談者内訳：看護職44件（41.9%）、県民16件（15.2%）、事務職13件（12.4%）、ケアマネジャー9件（8.6%）、他23件（21.9%）</p> <p>相談内容内訳：訪問看護サービス詳細（算定、加算、保険種別、精神科訪問看護等）67件（63.8%）、事業所の運営管理16件（15.2%）、介護に関する事9件（8.6%）、その他13件（12.4%）</p> <p>(2)定着促進対策事業</p> <p>①訪問看護の普及啓発に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム 従来地域包括支援センターからの出席率は4割前後であったが、今年度は7割前後の出席率、関心の高まりあり。 市原地区（10/5、会場：千葉県循環器病センター、参加者31名） 内容：看看ケアマネ連携フォーラム テーマ：一緒に利用者さんの生活を考えませんか 講義：「病院の入退院支援について」 「病院と訪問看護の連携事例」 グループディスカッション：利用者さんが安心して生活するために地域の連携を深めよう 安房地区（11/30、会場：安房地域医療センター、参加者29名） 内容：看看連携フォーラム テーマ：一緒に患者さんの退院後の生活を考えませんか 講義：「病院の入退院支援について」 「訪問看護の役割について」 グループディスカッション： 退院後も患者さんが安心して生活するために、私達にできること～お互いのことをもっと知り、看看連携を深めよう！ ・パンフレットの配布 配布物：「訪問看護利用の手引き」等 方法：ホームページへの掲載、イベント等での配布 <p>②訪問看護師指導者育成研修会（基礎編・実践編）</p> <p>内容：講義、グループディスカッション、個人ワーク</p> <p>テーマ：訪問看護ステーションの経営管理と人材育成に関する研修会</p> <p>会場：看護会館</p> <p>開催日および参加者：基礎編（8/24、28名）、実践編（2/16、13名）</p> <p>対象者：基礎編 訪問看護ステーションの管理者および指導者</p> <p>実践編 平成29・30、令和元年度の基礎編参加者</p> <p>(3)再就業促進対策事業</p> <p>①訪問看護再就業支援事業に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション見学体験事業（定員30名） 対象者：訪問看護基礎研修会参加者及びeナースセンター登録者 申込数17名、実施数16名、協力施設16施設 訪問看護ステーションへの就業者数：3名(18.8%) ※H30年度：2名（14.3%） ・訪問看護就職フェア（年1回） 開催名：看護職再就業支援セミナー11/19、10名 内容：ミニセミナー、交流カフェ、就業相談 会場：千葉県ナースセンター 対象者：県内で復職・転職を考えている看護職 就業者：3名(30%) 就職先内訳：病院1名、デイサービス1名、施設1名 ・訪問看護病院経営者(看護管理者)講習会（年1回） 開催日および参加者：1/25、48名 ※9割が看護職 会場：ホテルプラザ菜の花 対象者：県内病院の看護管理者、病院長、事務長等 講演：「病院からの訪問看護を実現するには」 「訪問看護室の開設から運営まで」 <p>2.ナースセンター事業（千葉県委託）（再掲）</p> <p>(1)訪問看護基礎研修会（再掲）</p> <p>3. 訪問看護出向事業（千葉県委託）</p> <p>(1) 訪問看護ステーション等出向支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネート業務（出向者数2名）
--	---

<p>③訪問看護の推進に関する事業</p>	<p>4.訪問看護推進事業（協会単独事業） (1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・新卒訪問看護師、潜在訪問看護師（各2名） ②訪問看護師養成講習会の開催（再掲） (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理 ②訪問看護の質評価・経営診断シミュレーションシステムの普及 5.関係機関との連携 (1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p>	<p>4.訪問看護推進事業（協会単独事業） (1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・新卒訪問看護師（1年目1名、2年目1名） 修了者1名、次年度継続者1名 ②訪問看護師養成講習会の開催（再掲） (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理 ・貸与中4事業所（iPad14台、PC・プリンター4台） ②訪問看護の質評価・経営診断シミュレーションシステムの普及 ・いきいき訪看（統一版）で稼働 5.関係機関との連携 (1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携 ・千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 1回目7/20、2回目（2/29中止） ※今年度は当協会が事務局を担当</p>
<p>④県民の健康・福祉の増進に関する事業</p>	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業 (1)第29回県民が集う「看護の日」事業 ①地区部会行事 令和元年5月11日（土） 【テーマ】看護は変わる。未来のために。 ～地域で輪となりつなげる看護～ ・場所 12地区部会が決定した場所 ・内容 地区独自の事業 （測定、体験、助産師の仕事PR、相談等） ②実行委員会の開催 年2回 2.「まちの保健室」事業 (1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会の決定会場 (2)イベント型の積極的な開催 3.自殺予防対策 (1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催（再掲） 4.千葉県小児救急電話相談事業 (1)相談員の登録・管理 (2)相談員の勤務調整 (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席 5.関係機関・他団体への協力 (1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加 6.災害支援対策事業 (1)災害支援ネットワークの強化 ①災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ②平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</p>	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業 (1)第29回県民が集う「看護の日」事業 ①地区部会行事 5/11 【テーマ】看護は変わる。未来のために。 ～地域で輪となりつなげる看護～ 内容：地区独自の事業（測定、体験、助産師の仕事PR、相談等） 参加人数：延べ6,532名（H30年度7,228名） ②実行委員会の開催（年2回） 7/30、1/28 2.「まちの保健室」事業 (1)開催場所 12地区部会の決定会場 (2)イベント型の積極的な開催（地域行事への参加） 8地区（千葉、市原、船橋、松戸、山武、長夷、君津、安房） 3.自殺予防対策 (1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ・相談件数：424件（電話369件、メール55件） ・相談者数：400名（県民372名、看護職22名、学生等6名） ・相談内容：身体・健康問題、検査・治療関係、人間関係、家族関係等で96% ②自殺予防に関する広報 ・カード式広告の配布 （4月：県内医療機関、県市町村行政、会員施設等） (2)人材育成研修の開催（再掲） ①「看護師のストレスマネジメント ～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲) ②「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲) ③「職場適応を支えるメンタルヘルス」(再掲) 4.千葉県小児救急電話相談事業 (1)相談員の登録・管理：相談時間 19:00～6:00 (2)相談員の勤務調整：勤務表作成 (3)相談員研修会の開催（12/7、2/9） (4)小児救急電話相談事業協議会（書面開催） 5.関係機関・他団体への協力 (1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加 6.災害支援対策事業 (1)災害支援ネットワークの強化 ①災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ②平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練（11/5～7） 想定：兵庫県山崎断層帯で発生した地震 協力施設：58施設</p>

<p>④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業</p>	<p>(2)災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理</p> <p>③災害救護対応マニュアルの見直し</p> <p>④災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>⑤災害時必要物品の管理</p> <p>(3)災害支援ナースの育成</p> <p>①「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(再掲)</p> <p>②「災害医療と看護(実践編)」(再掲)</p> <p>③災害支援ナース更新・再登録要件講習会</p> <p>(4)災害対策委員会(常任委員会)の開催 年6回</p>	<p>・九都県市合同防災訓練 千葉県会場：9/1 船橋市高瀬町運動広場 災害支援ナース 5名参加 千葉市会場：8/25 千葉市役所及び中央区役所 千葉地区より2名参加</p> <p>・その他 日本看護協会主催「令和元年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席(9/12)</p> <p>(2)災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理 ・災害支援ナース 243名(平成30年度 240名)</p> <p>③災害救護対応マニュアルの見直し</p> <p>④災害時の災害支援ナースの派遣調整 台風15号に係る災害支援者派遣調整 派遣期間：9/12～24 派遣先：(6病院、2避難所)派遣者 延78名(33施設) 災害支援ナース 33名(42%) 一般看護師 45名(58%)(名)</p> <table border="1" data-bbox="845 660 1380 996"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東千葉メディカルセンター</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>横芝光町避難所</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>安房地域医療センター</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>亀田総合病院</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>八街中央公民館避難所</td> <td>※14</td> </tr> <tr> <td>北条病院</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>さんむ医療センター</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>鴨川市立国保病院</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は協会職員4名含む</p> <p>⑤災害時必要物品の管理</p> <p>(3)災害支援ナースの育成</p> <p>①「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(再掲)</p> <p>②「災害医療と看護(実践編)」(再掲)</p> <p>③災害支援ナース更新・再登録要件講習会(2/27延期)</p> <p>(4)災害対策委員会(常任委員会)の開催 (8/5.9/9.11/6.3/4 書面)</p>	派遣先	人数	東千葉メディカルセンター	26	横芝光町避難所	1	安房地域医療センター	15	亀田総合病院	3	八街中央公民館避難所	※14	北条病院	3	さんむ医療センター	12	鴨川市立国保病院	4
派遣先	人数																			
東千葉メディカルセンター	26																			
横芝光町避難所	1																			
安房地域医療センター	15																			
亀田総合病院	3																			
八街中央公民館避難所	※14																			
北条病院	3																			
さんむ医療センター	12																			
鴨川市立国保病院	4																			
<p>⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業</p>	<p>1.職能委員会(職能)</p> <p>(1)保健師職能委員会 年6回程度</p> <p>(2)助産師職能委員会 年6回程度</p> <p>(3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度</p> <p>(4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度</p> <p>2.職能集会・交流会(職能)</p> <p>(1)職能集会 日時：令和元年6月27日(木) 場所：東京ベイ幕張ホール</p> <p>①保健師職能集会 1回</p> <p>②助産師職能集会 1回</p> <p>③看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>④看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>(2)各職能別交流会</p> <p>①保健師職能交流会 1回</p> <p>②助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回</p> <p>③看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回</p>	<p>1.職能委員会(職能)</p> <p>(1)保健師職能委員会 年5回(8/9、10/2、11/15、2/12、3/2 書面)</p> <p>(2)助産師職能委員会 年6回(7/16、9/11、10/31、12/11、1/27、3/10)</p> <p>(3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年5回(8/2、9/27、11/5、1/25、3/23 書面)</p> <p>(4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回(7/23、9/5、10/3、11/28、12/20、3/24)</p> <p>2.職能集会・交流会(職能)</p> <p>(1)職能集会 日時：令和元年6月27日(木) 場所：東京ベイ幕張ホール</p> <p>①保健師職能集会(参加者60名) ・講演「データヘルス時代の健康なまちづくり」</p> <p>②助産師職能集会(参加者21名) ・講演「子育てに活かせる絵本の力～絵本の読み聞かせ教育のプロに学ぶ～対話形式の読み聞かせを体験してみませんか?」</p> <p>③看護師職能集会(領域Ⅰ)(参加者184名) ・講演「ヘルシーワークプレイスを作る～看護師としての生き方・働き方を考える～」</p> <p>④看護師職能集会(領域Ⅱ)(参加者74名) ・講演「IT社会と看護～AIナースって何?～」</p> <p>(2)各職能別交流会</p> <p>①保健師職能交流会 2/12(参加者54名) ・テーマ「台風被害から学んだこと～妊産婦乳児を守る災害対策～」</p> <p>②助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回 <管理者> 11/13(参加者35名) ・テーマ「周産期メンタルヘルス～産科と精神科との連携～」 ・講演「産科と精神科との連携」 ・グループディスカッション テーマ「メンタルヘルスケアの現状と今後の課題」 <中堅> 1/27(参加者21名) ・講演「女性のためのリフレクソロジー～あなたも体験してみませんか～」 ・グループワーク「施設間の情報共有」</p> <p>③看護師職能交流会(領域Ⅰ) 10/20 中止</p>																		

<p>⑤看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業</p>	<p>④看護師職能交流会（領域Ⅱ） 1回</p> <p>⑤准看護師交流会 1回</p> <p>1.県行政等への要望・意見具申（看護制度） (1)県の令和2年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>(2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画</p> <p>2.看護関連施策に対する提言（看護制度） (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ②特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進</p>	<p>④看護師職能交流会（領域Ⅱ） 11/28（参加者67名） ・講演「事例から学ぶ褥瘡対策～在宅・施設に活かせる工夫・ケア～」</p> <p>⑤准看護師交流会 1/25（参加者44名） ・講演「摂食嚥下障害のメカニズムと食べるための支援」 ・講話「モチベーションを維持し生き生きと働くために」</p> <p>1.県行政等への要望・意見具申（看護制度） (1)県の令和2年度予算等に関する要望書の提出（9/4） ※会員からの要望 32施設 34名 72件 <要望事項> 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進 2 質の高い看護の提供体制の整備 3 地域包括ケアシステムの構築の推進</p> <p>(2)県議会等の活動への協力依頼等 1回（10/1自民党） (3)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：66回、関係団体等会議：54回</p> <p>2.看護関連施策に対する提言（看護制度） (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ②特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進</p>
<p>⑥指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業</p>	<p>1.訪問看護事業 (1)質の高い訪問看護の提供</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護の提供</p> <p>2.居宅介護支援事業 (1)ケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり</p> <p>(3)利用者の申請代行</p> <p>3.訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ</p> <p>(2)看護学生実習の受入れ</p> <p>4.地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回程度</p> <p>5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加</p> <p>(2)利用者確保のための広報活動</p> <p>6.職員の資質の向上 (1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加（再掲）</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進 (1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み (2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり (3)経営の安定化 (4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 年度末1回</p>	<p>1.訪問看護事業（訪問看護スタッフ常勤換算7.6人） (1)質の高い訪問看護の提供 利用者：延べ867名、訪問看護：延べ5103回</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 （在宅での看取り：18名、月平均1.5名、人工呼吸器装着患者：5名、小児：4名）</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護の提供 救急訪問：延べ265回 （うち休日の訪問：延べ112回）</p> <p>2.居宅介護支援事業（ケアマネ常勤換算1.7人） (1)ケアプランの提供 ケアプラン作成467名 (2)地域のネットワークづくり 105回 居宅サービス事業者との連携の担当者会議</p> <p>(3)利用者の申請代行 30名</p> <p>3.訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ 研修生の受け入れ 3名（2施設）延べ12日間 (2)看護学生実習の受入れ 28名（6校）延べ100日間</p> <p>4.地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 6回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 3回</p> <p>5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 訪問看護連絡協議会に参加 7回 地域の行事・交流会への参加 適宜参加 指定地域の開業医、病院、ケアマネ担当者等連絡会議（担当者会議、退院前カンファレンス等） 適宜参加</p> <p>(2)利用者確保のための広報活動</p> <p>6.職員の資質の向上 (1)事例検討会 12回（月1回） (2)研修会・学会等への参加 4名（延べ12日間）学生指導者研修等 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加（再掲）</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進 (1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み (2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり (3)経営の安定化 (4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止）</p>

⑦その他この法人が目的を達成するために必要な事業	1.地区部会活動事業 (1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催(再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業(再掲) ⑥その他、地区特有の事業 (2)看護職定着確保対策の推進 ①合同就職説明会の開催(再掲) ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)	1.地区部会活動事業 (1)具体的な地区部会活動 ①役員会 73回開催(計画81回) ②連絡会 21回開催(計画24回) ③研修会 29回開催(計画34回) 今年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月18日以降の地区活動はすべて中止となった。(中止となった会議等の内訳:役員会7地区、連絡会3地区、研修会2地区、まちの保健室1地区) ④まちの保健室の開催(再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業(再掲) ⑥その他、地区特有の事業 ・地区部会会計に係る説明会(4/24) ・台風15号、19号に係る地区内の状況について、地区担当理事・各地区部会長に情報提供を呼びかけ、協会として各地区の現状を把握することができた。 (2)看護職定着確保対策の推進 ①合同就職説明会の開催(再掲) ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)
	1.情報提供、広報事業 (1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	1.情報提供、広報事業 (1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 4回(4月、7月、10月、1月) 4・7月号:30,500部 10・1月号:31,000部 ②ホームページの充実 アクセス件数:209,900件(前年度211,517件) (うちスマートフォンからの検索58,409件 全体の28%) ③協会パンフレット等の活用 ④協会ホームページのリニューアル 次年度にホームページのリニューアルを行うため、協会内に検討会を立ち上げた。 (2)広報委員会の開催 年6回(7/11、9/19、10/18、11/21、2/6、3/5書面)
	1.施設の貸与等事業 (1)別館2階会議室②の貸付 2.販売手数料及び出展広告に関する事業 (1)看護関連図書の紹介 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務(日本看護協会) 3.会員サービス・福祉の充実等 (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援(再掲) (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	1.施設の貸与等事業 (1)別館2階会議室②の貸付 2.販売手数料及び出展広告に関する事業 (1)看護関連図書の紹介 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務(日本看護協会) 3.会員サービス・福祉の充実等 (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 ①千葉県看護協会会長表彰:315名 ②春の叙勲:6名(うち瑞宝双光章4名、瑞宝単光章2名) 秋の叙勲:1名(瑞宝単光章1名) (3)慶弔、見舞い等 ①弔慰金:8名 ②見舞金:1名(火災) ③見舞金:186名(災害)詳細は(4)②参照 (4)災害時の支援 ①災害支援金の募集 支援状況:会員施設・会員52件、募金箱(会館設置)関係団体等8件(北海道看護協会、高知県看護協会、徳島県看護協会、岡山県看護協会、広島県看護協会、熊本県看護協会、東洋羽毛、日本糖尿病教育・看護学会) ②災害見舞金の支給・災害支援金の分配 申請状況:192件(49施設) 支給対象:186件(全壊1件、半壊30件、一部損壊155件) ※非対象6件(賃貸2、非住宅2、罹災証明なし1、非会員1) (5)会員福利厚生サービスの実施・広報 クラブオフ利用者数9,462名(前年比127%) ①看護ちばへのキャンペーンの掲載(4、7、10、1月号) ②協会ホームページへのトピックスの掲載(毎月) ③クラブオフナビ(冊子)、PRカード(名刺サイズ)配架・配布
	1.組織運営に関する会議等の開催 (1)総会(終了後、職能集会) 年1回 日時:令和元年6月27日(木) 場所:東京ベイ幕張ホール	1.組織運営に関する会議等の開催 (1)総会(終了後、職能集会) 年1回 日時:令和元年6月27日(木) 場所:東京ベイ幕張ホール 参加者数:358名(一般会員338名、役員20名)(委任状20,539件)

<p>⑦その他この法人が目的を達成するために必要な事業</p>	<p>(2)理事会 年6回程度 (3)施設等会員代表者会 年2回 (7/12、2/25) ホテルポートプラザちば</p> <p>(4)地区部会長会 年2回(7月、2月) (5)保助看職能委員会(再掲) 年6回程度</p> <p>(6)推薦委員会 年6回程度 (7)常任委員会(再掲) 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会</p> <p>(8)千葉県看護連盟との連携</p>	<p>審議事項(議案1)平成30年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について (議案2)令和元年度役員及び推薦委員の選任について (議案3)会員以外からの監事の選任について (議案4)令和2年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の選出について</p> <p>(2)理事会 年7回(5/16、6/27、7/12、10/10、書面、12/12、3/27) (3)施設等会員代表者会 年2回 第1回 7/12 ホテルポートプラザ 参加者数:195名(一般会員178名、役員17名) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業修了証交付 議事 令和元年度千葉県看護協会の事業計画について 講演 「職場におけるハラスメントの発生事例とその対応」 講師 あおぞらの虹法律事務所 弁護士 南川 麻由子 氏 第2回 2/25 中止 ホテルポートプラザ</p> <p>(4)地区部会長会 年2回(7/30、1/28) (5)保助看職能委員会(再掲) 保健師5回 助産師6回 看護師15回II6回</p> <p>(6)推薦委員会 年6回(9/11、10/30、11/29、1/30、2/26(中止)、3/18) (7)常任委員会(再掲) 教育委員会 4回 労働環境改善委員会 6回 医療安全委員会 6回 広報委員会 6回 会員増促進委員会 6回 看護研究委員会 5回 災害対策委員会 4回</p> <p>(8)千葉県看護連盟との連携 合同研修会 第1回(6/22)オークラ千葉ホテル(参加者数139名) 講演 「アサーティブに伝える ～看護政策の今昔物語～」 講師 NPO法人 看護職キャリアサポート 顧問 (元)日本看護連盟 副会長 大島 敏子 氏 映画上映 「ぼけますから、よろしくお願ひします。」 第2回(1/25)ホテルプラザ菜の花(参加者83名) 講演①「現場の声から働き方改革 今こそ改革実行のチャンス！」 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 熊谷雅美 氏 講演②「医療機関において安心安全に電波を利用するために」 講師 医療法人鉄蕉会亀田総合病院 医療技術部 ME室長 高倉照彦 氏 (総務省関東統合通信局関東地域の医療機関における電波利用推進協議会委員)</p>
	<p>2.会員増の促進</p> <p>(1)新規・再入会の促進</p> <p>(2)継続会員への勧奨</p> <p>(3)新規:(看護学生)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内</p> <p>(4)新規:会員管理システム(施設専用サイト・会員専用サイト)の改修</p> <p>(5)看護学生表彰</p>	<p>2.会員増の促進 会員数:28,779名(目標数28,000名・達成率102.8%、前年比102.6%) うち新規入会者数:2,667名(目標数2,800名・達成率95.3%) 職種別会員数:保456名・助905名・看26,323名・准1,095名</p> <p>(1)新規・再入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ・会員福利厚生サービスの紹介(クラブオフナビ等の配布) ・看護協会ガイドブック『看護協会ってどんなところ?』(千葉県看護協会制作)配付(再掲) ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 ・職能集会、地区部会研修会等での入会案内配布</p> <p>(2)継続会員への勧奨 ①新規入会者への案内 『入会されたあなたへ～information～』配付 ②看護ちばへの掲載 会員手続きについて、会員福利厚生サービスの案内(再掲)</p> <p>(3)(看護学生)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対 象:令和元年度卒業生37校、2,503名(大学院84名含) 配付物:・看護協会ガイドブック[千葉県版] ・看護学生へのメッセージ(日本看護協会作成) ・お祝いの品(休足時間・メッセージ入り) ・はたさば</p> <p>(4)会員管理システム(施設専用サイト・会員専用サイト)の改修 リリース:2/18</p> <p>(5)看護学生表彰 「千葉県看護協会看護学生表彰規程」(新設)に基づき表彰 対 象:25校、25名</p>

<p>⑦その他この法人が目的を達成するために必要な事業</p>	<p>(6)会員増促進委員会の開催 年6回 (7)看護政策推進のための組織強化事業の推進(再掲)</p> <p>3.公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) (1)令和元年度事業計画・収支予算等の提出(3月) (2)平成30年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6月) (3)役員等の変更登記及び届出</p> <p>4.日本看護協会との連携 (1)法人会会員・理事会 (2)地区別法人会会員 (3)職能委員長会 (4)日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>5.行政等との連携 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生 (1)研修の実施 ①担当業務に係る外部研修等の受講 ②集合研修の実施 (2)健康診断およびインフルエンザ予防接種</p> <p>7.協会資産の管理 (1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 ・保全等 ・環境整備 ②協会物品の管理 ・物品台帳の整備 ③公用車の管理 ④茂原市に所有する家屋の今後の取り扱い</p> <p>(2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 ・情報セキュリティの確保 ・個人情報関連業務の標準化 ②情報資産の活用 ・グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p>	<p>(6)会員増促進委員会 年6回(7/18、9/19、10/17、11/21、1/16、2/20 書面) (7)看護政策推進のための組織強化事業の推進(再掲)</p> <p>3.公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) (1)令和元年度事業計画・収支予算等の提出(3月) (2)平成30年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6月) (3)役員等の変更登記及び届出(10/21)</p> <p>4.日本看護協会との連携 (1)法人会会員・理事会等 理事会 6回(5/10、6/6、7/25、9/27、11/28、2/20) 法人会会員 5回(5/10、7/26、9/27、11/29、2/21) 日本看護協会通常総会(6/6)代議員28名参加 全国職能交流集会(6/7)代議員26名参加 (2)地区別法人会会員 1回(10/7・8) 地区別職能委員長会 1回(10/7・8) 各職能委員長出席 (3)職能委員長会 1回(8/21) 各職能委員長出席 (4)日本看護協会通常総会代議員選出 2019年度日本看護協会通常総会代議員等研修会(5/16) 参加者数:35名(代議員22名 予備代議員13名) 令和元年度千葉県看護協会定時総会にて日本看護協会通常総会代議員・予備代議員を選出(6/27) (令和2年度 代議員28名、予備代議員32名)(7/31 報告)</p> <p>5.行政等との連携 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援 (後援56件 共催1件 延期1件)</p> <p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生 (1)研修の実施 台風等の影響もあり実績なし ①担当業務に係る外部研修等の受講 ②集合研修の実施 (2)健康診断およびインフルエンザ予防接種 ①健康診断 11月~12月 ②インフルエンザ予防接種 9月以降</p> <p>7.協会資産の管理 (1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 ・保全等 ・環境整備 ②協会物品の管理 ・物品台帳の整備 ③公用車の管理 ④茂原市に所有する家屋の今後の取り扱い ・契約解除時の更地返還条件を変更し、現状のまま無償譲渡すること決定</p> <p>(2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 ・情報セキュリティの確保 ・個人情報関連業務の標準化 ②情報資産の活用 ・グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有 ・研修会等会館内無線LAN(Wi-Fi)環境設定 ・サーバーの入替及びインターネットサーバの更改(施設専用サイト、会員専用サイト) ・研修出欠用パソコン10台入替 ・研修用ノートパソコン40台導入</p>
---------------------------------	---	--

令和元年度 決算報告

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

*「平成20年会計基準」国の定める公益社団法人の標準会計方式(平成20年策定、施行)

(1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されている。

- ①「公益目的事業会計」は、定款第4条(事業)の規定による7つの事業に区分している。
- ②「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

(2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則(認定法第5条6号、第14条)
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率(認定法第5条8号、第15条)
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限(認定法第5条9号、第16条)
遊休財産額(使途を定めない財産)が保有制限額(1年分の公益目的事業費相当額)を超えてはならない。

2. 令和元年度決算の概要

令和元年度決算においては、台風・豪雨災害及び新型コロナウイルスによる影響で教育研修、会議等が延期中止となり、収益・費用の項目別予算執行に差異が多く発生している。

全体決算の規模は、収益で429,243千円(予算執行率100.21%)、費用で371,874千円(予算執行率97.75%)であり、主な点は以下のとおりである。

(1) 経常収益について(合計429,243千円)

- ① 受取入会金・年会費は203,676千円で、予算と比較して924千円の減額となっている。なお受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。(残額は法人会計へ計上)
- ② 研修会参加料は68,634千円で、予算と比較して3,340千円の減額となっている。
- ③ 公益事業受託料は70,179千円で、予算と比較して1,076千円の減額となっている。
- ④ 訪問看護・居宅介護支援事業収益は62,191千円(利息等を除く)で、予算と比較して195千円の減額となっている。
- ⑤ 補助金・助成金は予算額と同額の9,552千円であった。

(2) 経常費用について(合計371,874千円)

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は315,977千円で、予算と比較して13,213千円の減額となっている。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は14,229千円で、予算と比較して4,549千円の増額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は41,668千円で、予算と比較して112千円の増額である。

(3) 令和元年度決算における財務3基準について

① 収支相償

- イ. 協会全体経常収益429,243千円
= 公益事業317,236千円+収益事業等9,499千円+法人会計102,508千円
- ロ. 公益事業経常収益317,236千円-公益事業経常費用315,977千円
= 公益事業経常増減1,259千円
- ハ. 1,259千円+各種調整額合計▲29,740千円 = ▲28,481千円

→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

*各種調整額合計…支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

② 公益目的事業比率

- イ. 協会全体経常費用371,874千円
= 公益事業315,977千円+収益事業等14,229千円+法人会計41,668千円
- ロ. 公益事業経常費用315,977千円÷(経常費用合計371,874千円+記念事業積立額400千円) = 84.88% ≧ 50%
→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

③ 遊休財産保有制限

- イ. 総資産1,063,608千円-総負債220,498千円-(控除対象財産580,416千円-対応負債11,534千円) = 274,228千円
- ロ. 令和元年度末遊休財産額274,228千円 ≤ 保有制限額315,977千円
→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

*控除対象財産…公益目的保有財産など目的の定められた財産で、遊休財産の範囲から除かれる財産をいう。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	395,289,087	373,322,898	21,966,189
未収入金	41,602,661	29,085,495	12,517,166
立替金	586,300	11,000	575,300
前払費用	1,529,070	1,054,776	474,294
仮払金	0	164	△ 164
流動資産合計	439,007,118	403,474,333	35,532,785
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
役員退職慰労引当資産	7,097,222	7,705,556	△ 608,334
退職給付引当資産	37,087,585	41,343,310	△ 4,255,725
看護会館取得資産	387,111,424	362,218,388	24,893,036
記念事業積立資産	2,800,000	2,400,000	400,000
特定資産合計	434,096,231	413,667,254	20,428,977
(3)その他固定資産			
建物	368,801,658	368,801,658	0
構築物	35,220,427	35,220,427	0
車両運搬具	12,179,431	12,249,094	△ 69,663
什器備品	77,486,158	75,865,446	1,620,712
図書	31,151,780	31,032,773	119,007
リース資産	17,093,580	5,029,860	12,063,720
その他固定資産	56,598,792	39,579,810	17,018,982
減価償却累計額	△ 409,431,328	△ 400,443,133	△ 8,988,195
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	104,000	104,000	0
リサイクル預託金	113,730	115,030	△ 1,300
その他固定資産合計	190,504,718	168,741,455	21,763,263
固定資産合計	624,600,949	582,408,709	42,192,240
資産合計	1,063,608,067	985,883,042	77,725,025
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,159,154	8,597,930	12,561,224
リース債務	11,534,400	0	11,534,400
前受金	876,000	1,404,000	△ 528,000
前受会費	140,646,000	139,152,000	1,494,000
預り金	1,217,732	1,437,811	△ 220,079
仮受金	880,000	505,617	374,383
流動負債合計	176,313,286	151,097,358	25,215,928
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	7,097,222	7,705,556	△ 608,334
退職給付引当金	37,087,585	41,343,310	△ 4,255,725
固定負債合計	44,184,807	49,048,866	△ 4,864,059
負債合計	220,498,093	200,146,224	20,351,869
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	843,109,974	785,736,818	57,373,156
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(389,911,424)	(364,618,388)	(25,293,036)
正味財産合計	843,109,974	785,736,818	57,373,156
負債及び正味財産合計	1,063,608,067	985,883,042	77,725,025

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部 取引 消去	合計
			施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広 告料に関する 事業	福利厚生等 に関する事業	計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益		[7,385]	[12]	[13]	[36]	[61]	[1,569]	[△ 0]	[9,015]
特定資産受取利息		7,385	12	13	36	61	1,569		9,015
受取入会金		[16,062,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,062,000]	[△ 0]	[32,124,000]
受取入会金		16,062,000	0	0	0	0	16,062,000		32,124,000
受取会費		[85,776,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,776,000]	[△ 0]	[171,552,000]
受取会費		85,776,000	0	0	0	0	85,776,000		171,552,000
事業収益		[204,282,303]	[720,000]	[4,877,042]	[52,645]	[5,649,687]	[0]	[△ 25,080]	[209,906,910]
教育研修会参加料		68,603,753	0	0	0	0	0		68,603,753
看護職員の資質向上研修事業受託料		24,577,230	0	0	0	0	0		24,577,230
ナースセンター事業受託料		30,160,000	0	0	0	0	0		30,160,000
ナースセンター会館管理受託料		5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料		7,081,000	0	0	0	0	0		7,081,000
小児救急電話相談事業等受託料		1,190,456	0	0	0	0	0		1,190,456
日本看護協会受託料		1,330,560	0	4,179,988	0	4,179,988	0	△ 25,080	5,485,468
訪問看護療養費収益		49,839,275	0	0	0	0	0		49,839,275
基本利用料収益		3,677,950	0	0	0	0	0		3,677,950
その他の利用料収益		1,568,451	0	0	0	0	0		1,568,451
居宅介護支援事業収益		6,311,763	0	0	0	0	0		6,311,763
受取手数料		965,200	0	697,054	52,645	749,699	0		1,714,899
雑収益		3,136,665	720,000	0	0	720,000	0		3,856,665
受取補助金等		[9,552,020]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,552,020]
「看護の日」事業補助金		100,000	0	0	0	0	0		100,000
(公社)日本看護協会助成金		9,452,020	0	0	0	0	0		9,452,020
受取寄付金		[1,300,000]	[0]	[0]	[3,846,918]	[3,846,918]	[0]	[△ 0]	[5,146,918]
受取寄付金		1,300,000	0	0	0	0	0		1,300,000
受取寄付金振替額		0	0	0	3,846,918	3,846,918	0		3,846,918
雑収益		[281,623]	[34]	[0]	[2,101]	[2,135]	[668,358]	[△ 0]	[952,116]
受取利息		1,623	34	0	1	35	10,638		12,296
雑収益		280,000	0	0	2,100	2,100	657,720		939,820
経常収益計		317,261,331	720,046	4,877,055	3,901,700	9,498,801	102,507,927	△ 25,080	429,242,979
(2) 経常費用									
事業費									
役員報酬		[315,977,178]	[358,712]	[2,694,169]	[11,175,907]	[14,228,788]	[0]	[△ 0]	[330,205,966]
役員報酬		22,211,323	119,505	114,705	97,074	331,284	0		22,542,607
給与手当		123,283,957	66,634	1,643,639	577,495	2,287,768	0		125,571,725
賞与		15,295,386	9,888	243,915	85,699	339,502	0		15,634,888
通勤手当		7,030,065	6,494	110,427	38,972	155,893	0		7,185,958
役員退職慰労引当金繰入		2,274,794	15,249	15,249	17,791	48,289	0		2,323,083
退職給付費用		4,119,440	27,616	27,616	32,219	87,451	0		4,206,891
法定福利費		23,572,803	19,610	333,381	117,664	470,655	0		24,043,458
福利厚生費		743,046	522	8,891	5,364,832	5,374,245	0		6,117,291
会議費		653,212	0	0	0	0	0		653,212
旅費交通費		1,904,243	1,790	0	0	1,790	0		1,906,033
通信運搬費		7,734,566	180	15,550	1,308,560	1,324,290	0		9,058,856
減価償却費		12,861,331	33,403	34,041	51,264	118,708	0		12,980,039
消耗什器備品費		163,273	495	495	495	1,485	0		164,758
消耗品費		7,350,970	23,003	23,003	23,003	69,009	0		7,419,979
修繕費		1,167,380	1,177	1,261	3,535	5,973	0		1,173,353
印刷製本費		15,117,888	0	0	17,856	17,856	0		15,135,744
燃料費		467,007	0	0	0	0	0		467,007
光熱水料費		6,878,392	6,468	6,931	19,406	32,805	0		6,911,197
賃借料		5,072,904	1,600	1,715	4,802	8,117	0		5,081,021
保険料		1,618,358	1,344	1,440	4,034	6,818	0		1,625,176
諸謝金		22,301,618	0	0	0	0	0		22,301,618
租税公課		5,822,218	9,377	95,647	28,132	133,156	0		5,955,374
支払負担金		35,000	0	0	0	0	0		35,000
支払手数料		1,291,767	0	880	0	880	0		1,292,647
看護材料購入費		357,869	0	0	0	0	0		357,869
管理諸費		16,852,938	14,357	15,383	3,343,074	3,372,814	0		20,225,752
図書費		1,202,695	0	0	0	0	0		1,202,695
委託費		6,293,106	0	0	0	0	0		6,293,106
広報費		1,948,748	0	0	0	0	0		1,948,748
雑費		350,881	0	0	40,000	40,000	0		390,881

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分 公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部 取引 消去	合計
		施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広 告料に関する 事業	福利厚生等 に関する事業	計			
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[41,693,427]	[△ 25,080]	[41,668,347]
役員報酬					0	623,394		623,394
給料手当					0	11,945,123		11,945,123
賞与					0	1,717,299		1,717,299
通勤手当					0	840,445		840,445
役員退職慰労引当金繰入					0	218,583		218,583
退職給付費用					0	395,834		395,834
法定福利費					0	2,333,671		2,333,671
福利厚生費					0	99,071	△ 25,080	73,991
会議費					0	926,225		926,225
旅費交通費					0	148,375		148,375
通信運搬費					0	3,452,400		3,452,400
減価償却費					0	4,033,674		4,033,674
消耗什器備品費					0	5,742		5,742
消耗品費					0	266,854		266,854
修繕費					0	724,067		724,067
印刷製本費					0	3,140,902		3,140,902
光熱水料費					0	701,890		701,890
賃借料					0	1,636,630		1,636,630
保険料					0	145,902		145,902
諸謝金					0	87,142		87,142
租税公課					0	1,040,791		1,040,791
支払負担金					0	311,500		311,500
支払手数料					0	3,934,451		3,934,451
管理諸費					0	1,557,866		1,557,866
交際費					0	528,553		528,553
図書費					0	307,796		307,796
広報費					0	302,300		302,300
雑費					0	266,947		266,947
経常費用計	315,977,178	358,712	2,694,169	11,175,907	14,228,788	41,693,427	△ 25,080	371,874,313
評価損益等調整前当期経常増減額	1,284,153	361,334	2,182,886	△ 7,274,207	△ 4,729,987	60,814,500	△ 0	57,368,666
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額	1,284,153	361,334	2,182,886	△ 7,274,207	△ 4,729,987	60,814,500	△ 0	57,368,666
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
固定資産売却益	[4,499]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[4,499]
車両運搬具売却益	4,499	0	0	0	0	0		4,499
経常外収益計	4,499	0	0	0	0	0	△ 0	4,499
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[8]	[△ 0]	[9]
什器備品除却損	1	0	0	0	0	8		9
経常外費用計	1	0	0	0	0	8	△ 0	9
当期経常外増減額	4,498	0	0	0	0	△ 8	△ 0	4,490
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,288,651	361,334	2,182,886	△ 7,274,207	△ 4,729,987	60,814,492		57,373,156
他会計振替額	2,400,000	△ 1,683,758	△ 2,100,000	7,274,207	3,490,449	△ 5,890,449		0
当期一般正味財産増減額	3,688,651	△ 1,322,424	82,886	0	△ 1,239,538	54,924,043	△ 0	57,373,156
一般正味財産期首残高	195,606,756	6,326,375	4,043,086	35,220	10,404,681	579,725,381		785,736,818
一般正味財産期末残高	199,295,407	5,003,951	4,125,972	35,220	9,165,143	634,649,424	△ 0	843,109,974
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	0	0	0	3,846,918	3,846,918	0		3,846,918
受取寄付金	0	0	0	3,846,918	3,846,918	0		3,846,918
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 3,846,918	△ 3,846,918	0		△ 3,846,918
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 3,846,918	△ 3,846,918	0		△ 3,846,918
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高	199,295,407	5,003,951	4,125,972	35,220	9,165,143	634,649,424	△ 0	843,109,974

正味財産増減計算書内訳表(公益目的事業会計)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	定款事業		公益目的事業会計						内部取引 消去	合計
	看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の 目的を達成す る為に必要な 事業	公益目的 共通事業		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
特定資産運用益	[5,208]	[200]	[217]	[228]	[136]	[1,143]	[162]	[91]	[△ 0]	[7,385]
特定資産受取利息	5,208	200	217	228	136	1,143	162	91		7,385
受取入金金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,062,000]	[△ 0]	[16,062,000]
受取入金金	0	0	0	0	0	0	0	16,062,000		16,062,000
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,776,000]	[△ 0]	[85,776,000]
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	85,776,000		85,776,000
事業収益	[94,152,231]	[37,507,072]	[7,081,000]	[3,371,905]	[0]	[62,191,095]	[36,500]	[0]	[△ 57,500]	[204,282,303]
教育研修会参加料	68,633,753	0	0	0	0	0	0	0	△ 30,000	68,603,753
看護職員の資質向上研修事業受託料	24,577,230	0	0	0	0	0	0	0	0	24,577,230
ナースセンター事業受託料	0	30,160,000	0	0	0	0	0	0	0	30,160,000
ナースセンター会館管理受託料	0	5,840,000	0	0	0	0	0	0	0	5,840,000
訪問看護推進事業受託料	0	0	7,081,000	0	0	0	0	0	0	7,081,000
小児救急電話相談事業等受託料	0	0	0	1,190,456	0	0	0	0	0	1,190,456
日本看護協会受託料	564,488	766,072	0	0	0	0	0	0	0	1,330,560
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	49,839,275	0	0	0	49,839,275
基本利用料収益	0	0	0	0	0	3,677,950	0	0	0	3,677,950
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,568,451	0	0	0	1,568,451
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	6,311,763	0	0	0	6,311,763
受取手数料	224,200	741,000	0	0	0	0	0	0	0	965,200
雑収益	152,560	0	0	2,181,449	0	793,656	36,500	0	△ 27,500	3,136,665
受取補助金等	[9,452,020]	[0]	[0]	[100,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,552,020]
「看護の日」事業補助金	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000
(公社)日本看護協会助成金	9,452,020	0	0	0	0	0	0	0	0	9,452,020
受取寄付金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,300,000]	[△ 0]	[1,300,000]
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	1,300,000		1,300,000
雑収益	[163]	[80,000]	[0]	[0]	[0]	[200,480]	[3]	[977]	[△ 0]	[281,623]
受取利息	163	0	0	0	0	480	3	977		1,623
雑収益	0	80,000	0	0	0	200,000	0	0		280,000
経常収益計	103,609,622	37,587,272	7,081,217	3,472,133	136	62,392,718	36,665	103,139,068	△ 57,500	317,261,331

正味財産増減計算書内訳表(公益目的事業会計)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	定款事業		公益目的事業会計							合計
	看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の 目的を達成する 為に必要な 事業	公益目的 共通事業	内部 取引 消去	
(2)経常費用										
事業費	[103,062,572]	[73,268,012]	[16,854,729]	[24,113,888]	[7,503,855]	[59,782,750]	[23,924,253]	[7,524,619]	[△ 57,500]	[315,977,178]
役員報酬	5,160,537	5,682,657	3,591,775	3,178,497	1,180,350	1,173,000	2,244,507	0		22,211,323
給与手当	27,932,324	31,458,304	5,277,477	9,584,067	2,076,211	39,812,933	7,142,641	0		123,283,957
賞与	4,090,008	4,375,167	1,227,424	1,882,834	276,904	2,579,302	863,747	0		15,295,386
通勤手当	1,937,936	2,094,422	454,702	808,258	322,501	850,925	561,321	0		7,030,065
役員退職慰労引当金繰入	889,595	673,539	188,082	243,999	63,540	48,290	167,749	0		2,274,794
退職給付費用	1,610,961	1,219,721	340,601	441,860	115,067	87,451	303,779	0		4,119,440
法定福利費	5,687,104	6,040,089	1,372,747	1,804,182	490,266	7,080,218	1,098,197	0		23,572,803
福利厚生費	151,713	187,908	36,615	48,122	13,075	306,322	29,291	0	△ 30,000	743,046
会議費	96,721	255,730	11,944	0	31,311	0	257,506	0		653,212
旅費交通費	147,916	275,787	89,414	61,986	79,084	299,487	950,569	0		1,904,243
通信運搬費	1,144,230	1,672,727	1,515,948	446,531	268,801	1,058,967	1,483,120	144,242		7,734,566
減価償却費	6,646,795	660,021	438,471	771,831	198,043	1,073,657	515,645	2,556,868		12,861,331
消耗什器備品費	27,126	10,395	5,643	7,425	1,980	71,500	5,346	33,858		163,273
消耗品費	2,590,609	1,525,324	415,338	410,328	132,907	279,621	423,281	1,573,562		7,350,970
修繕費	519,650	65,095	21,043	22,054	13,213	394,167	15,655	116,503		1,167,380
印刷製本費	3,954,206	4,721,146	294,192	268,254	910,487	180,212	4,789,391	0		15,117,888
燃料費	0	0	0	0	0	0	467,007	0		467,007
光熱水料費	3,184,174	2,637,062	115,516	121,061	72,543	614,037	85,944	48,055		6,878,392
貸借料	698,241	1,411,246	98,591	1,673,723	671,354	146,398	361,457	11,894		5,072,904
保険料	570,749	21,994	48,812	29,265	15,079	904,605	17,865	9,989		1,618,358
諸謝金	17,129,793	2,264,358	644,936	649,971	304,962	0	1,335,098	0	△ 27,500	22,301,618
租税公課	3,984,078	173,788	178,454	175,492	105,161	153,630	124,585	927,030		5,822,218
支払負担金	0	0	0	0	0	35,000	0	0		35,000
支払手数料	393,800	213,000	0	0	0	0	1,760	683,207		1,291,767
看護材料購入費	0	0	0	0	0	357,869	0	0		357,869
管理諸費	7,090,762	4,879,972	256,395	268,702	161,016	1,726,120	1,050,560	1,419,411		16,852,938
図書費	1,130,438	28,688	10,609	23,920	0	9,040	0	0		1,202,695
委託費	6,293,106	0	0	0	0	0	0	0		6,293,106
広報費	0	642,672	220,000	1,086,076	0	0	0	0		1,948,748
雑費	0	77,200	0	105,450	0	72,992	95,239	0		350,881
経常費用計	103,062,572	73,268,012	16,854,729	24,113,888	7,503,855	59,782,750	23,924,253	7,524,619	△ 57,500	315,977,178
評価損益等調整前当期経常増減額	547,050	△ 35,680,740	△ 9,773,512	△ 20,641,755	△ 7,503,719	2,609,968	△ 23,887,588	95,614,449	△ 0	1,284,153
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額	547,050	△ 35,680,740	△ 9,773,512	△ 20,641,755	△ 7,503,719	2,609,968	△ 23,887,588	95,614,449	△ 0	1,284,153
2. 経常外増減の部										
(1)経常外収益										
固定資産売却益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[4,499]	[0]	[0]	[△ 0]	[4,499]
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	4,499	0	0		4,499
経常外収益計	0	0	0	0	0	4,499	0	0	0	4,499
(2)経常外費用										
固定資産除却損	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1]
什器備品除却損	1	0	0	0	0	0	0	0		1
経常外費用計	1	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	0	0	0	4,499	0	0	△ 0	4,498
他会計振替前当期一般正味財産増減額	547,049	△ 35,680,740	△ 9,773,512	△ 20,641,755	△ 7,503,719	2,614,467	△ 23,887,588	95,614,449		1,288,651
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	2,400,000		2,400,000
当期一般正味財産増減額	547,049	△ 35,680,740	△ 9,773,512	△ 20,641,755	△ 7,503,719	2,614,467	△ 23,887,588	98,014,449	△ 0	3,688,651
一般正味財産期首残高	△ 119,764,509	△ 160,002,182	△ 48,584,116	△ 105,981,888	△ 39,564,588	△ 14,412,094	△ 172,860,526	856,776,659		195,606,756
一般正味財産期末残高	△ 119,217,460	△ 195,682,922	△ 58,357,628	△ 126,623,643	△ 47,068,307	△ 11,797,627	△ 196,748,114	954,791,108	△ 0	199,295,407
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高	△ 119,217,460	△ 195,682,922	△ 58,357,628	△ 126,623,643	△ 47,068,307	△ 11,797,627	△ 196,748,114	954,791,108	△ 0	199,295,407

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会長 寺口恵子様

令和元年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、令和元年度監事監査実施計画に基づき、第1回（令和元年11月18日）及び第2回（令和2年5月8日）監査を実施したので、その結果を報告する。

監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

令和2年5月8日

公益社団法人千葉県看護協会

監事 飯塚忠義

監事 松永敏子

監事 石井崇子

第3号議案 令和2年度改選役員及び推薦委員の選任について

令和2年度役員・推薦委員候補者一覧

- ・記事は(現・新)、氏名(職種)、所属、抱負の順。
- ・推薦とは、推薦委員会設置運営規程第2条第2項の規定に基づく推薦委員会による推薦を指し、立候補とは選挙運営規則第3条の規定に基づく立候補を指す。

※ 候補者の所属は令和2年4月1日時点の会員登録情報による。

※ 候補者から提出のあった立候補届出書の抱負を原文のまま掲載。

1 理事(改選13/候補者13名)

〈推薦〉

(現) 寺口 恵子(看) 公益社団法人千葉県看護協会
少子超高齢多死社会に向け、誰もが住み慣れた地域で、質の高い医療・介護を安心して受けられる社会とするために看護職の役割拡大、あらゆる場での活躍が期待されています。

看護職が安心して働き続けられる環境づくりの推進、誇りと責任、やりがいをもって役割遂行できるよう「看護の将来ビジョン」実現に向け取り組んで参ります。

(現) 増淵 美恵子(助) 日本医科大学千葉北総病院
この度、2期目を目指すこととなりました。私は、平常時における看護協会の役割を遂行すると共に、災害等が発生した際の協会会員への支援を、協会長と共に行って参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(現) 内山 弘子(看) 公益社団法人千葉県看護協会
災害支援の派遣に関しては、通常業務で忙しい中協力いただいたことで看護をつなぐことができました。看護職が一丸となり、助け合うことは看護の普遍的要素であると思います。微力ながら力を尽くしたいと思います。

(新) 渡辺 尚子(看) 公益社団法人千葉県看護協会
地域包括ケアシステムの構築が進められ医療や看護が大きく変わりつつあります。このような中で看護職への期待はさらに大きくなっていると感じています。2年間、事業部において、訪問看護の推進・医療安全の強化、災害対策等さまざまな事業に取り組んできました。これまでの経験をもとに今後の協会活動の発展に少しでも寄与できればと思います。よろしくお願い申し上げます。

(新) 青木 康子(助) キッコーマン総合病院
周産期医療における環境は、日々変化しております。そのような中、助産師が変化に順応し専門性と自律した能力が発揮できるよう活躍したい。

(新) 田中 且子(看)

一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院
助産師としての勤務が長く、理事という大役が務まるのか不安もございますが、看護師が専門職として自信と誇りを持ち、地域包括ケアシステムの中でリーダーシップを発揮できるよう微力ながら尽力いたします。

(現) 伊藤 淳子(看) 船橋市立医療センター
地域包括ケアシステムの構築が進められる中、チーム医療のキーパーソンとして、また、働き方改革が叫ばれる中、ワークシフト・ワークシェアと看護職の役割拡大への期待が大きくなっています。看護職が、やりがいをもってその専門性を発揮できるよう支援ができるように頑張ります。

(現) 鈴木 美智子(看)

順天堂大学医学部附属浦安病院
住民の方々のいのちと暮らしを守るために、私たち看護職に今できることは何かを自問自答しながら、推進力をつけ医療チームの一員として進んでまいりたいと考えております。

(新) 高柴 律子(看) 成田赤十字病院

患者とご家族が安心して在宅に戻れるよう地域との連携強化や災害時の協力体制の強化に尽力したいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(新) 川井 弘子(看) サボテン六高台

松戸市立病院での経験や、有床診療所の立ち上げ、訪問看護や施設での看護師の役割を通じて協会活動のお役に立てる様頑張りたいと思っています。

(新) 遠山 美智子(看) 君津中央病院附属看護学校

千葉県で生まれ育ち、長年、君津地域で看護職を続けて来ました。少子超高齢が進む中、様々な地域の問題を解決し、住民の健康な生活が守れるよう微力ながら、力を尽くしたいと思います。

(新) 神明 直美(看) 千葉県立野田看護専門学校
地域包括ケアシステムの推進により看護職の活動する場が拡大しています。県民の看護への期待に応えるためには、看護の質の向上と看護職の連携が大変重要になってきていると思います。役員の方々と協力して、課題に取り組むよう努めます。

(新) 上原 亜希子(准)
公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
県民のみな様の健康と福祉向上の為、お力になれるよう尽力いたします。

2. 監事(改選1/候補者1名)

〈推薦〉(会員)

(新) 澤田 いつ子(保) (在宅)
貴協会は、会員の資質と向上と安心して働き続けられる環境づくりを推進することによって、地域のニーズに応じた保健・医療・福祉の向上に貢献することだと認識しています。協会事業が適正、かつ円滑に遂行できるよう力を尽くしてまいります。

3. 推薦委員候補(改選7/候補者8名)

〈推薦〉

(新) 塚田 真澄(保) 千葉県山武健康福祉センター
超高齢化社会を迎え、環境や意識は変化し、看護職に求められる資質や役割は年々増えています。看護協会の「看護の専門性と職能団体の力を発揮し、県民の健康な生活を支える」活動のお役に立てるよう努力いたします。

(新) 石毛 しげみ(助)
地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
初めて委員として活動をさせていただきます。諸先輩方のご指導を受けながら協会の発展のため誠心誠意務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

(新) 跡治 江理奈(看)
医療法人社団協友会 柏厚生総合病院
看護協会活動は初めてですが、微力ながらお役に立てるよう精一杯務めてまいります。よろしく願いいたします。

(新) 青田 孝子(看)
独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院
千葉県看護協会のスローガン「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」のもと、専門職能団体としての事業展開に市原地区部会長としての経験を役立てたいと考えています。

(新) 山岸 聡子(看) 千葉県こども病院
他の委員とよく相談し様々なご意見を伺いながら、各委員として戦略的に活動いただける人をご推薦できるように努めたいと思います。

(新) 和田 みどり(看)
千葉県千葉リハビリテーションセンター
「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」のスローガンのもと展開されている各事業への理解を深め、他の委員の皆様と協力して役割を果たしていけるよう頑張りたいと思います。

(新) 榎野 加寿枝(看)
東邦大学医療センター佐倉病院
このような機会を与えていただいたことに感謝します。協会のスローガンの実現に向けて、看護師として、また協会の一員として、県民の健康な生活を支える活動ができるよう、精一杯取り組んで参ります。

〈立候補〉

(新) 松尾 芳(看)
医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院
高齢化社会を支える専門職として、地域の人々が差別のない健康な生活がおくれる様に、現在に至るまでの看護経験をいかし、看護活動をおこなっていきたいと思います。

第4号議案 2021年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について

2021年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所属
1	理事等	増 渕 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院
2		井 上 恵 子	イノウエ ケイコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
3		宇 崎 めぐみ	ウザキ メグミ	保	千葉県香取健康福祉センター
4		青 木 康 子	アオキ ヤスコ	助	キッコーマン株式会社 キッコーマン総合病院
5		田 中 且 子	タナカ カツコ	看	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院
6		許 斐 玲 子	コノミ レイコ	看	社会福祉法人双樹会 地域密着型 特別養護老人ホーム リバーサイド
7		上 原 亜希子	ウエハラ アキコ	准	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
8	千葉	岸 部 友 美	キシベトモミ	看	自動車事故対策機構 千葉療護センター
9		大 坂 美 穂	オオサカ ミホ	看	千葉県がんセンター
10		生 澤 敦 子	イケザワ アツコ	看	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院
11	新 井 玲 子	アライ レイコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター	
12	市原	入 江 昭 子	イリエ アキコ	看	帝京大学ちば総合医療センター
13	船橋	川 崎 敬 子	カサワキ ケイコ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
14		宇 梶 智 子	ウカジ トモコ	看	医療法人社団一心会 初富保健病院
15		宮 本 千津子	ミヤモト チツコ	看	東京医療保健大学 千葉看護学部
16	長 嶋 美 佳	ナガシマ ミカ	看	医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院	
17	市川	吉 川 淳 子	ヨシカワ ジュンコ	助	東京歯科大学市川総合病院
18		今 居 恭 子	イマイ キョウコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
22	松戸	菅 原 直 美	スガワラ ナオミ	看	IMSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
20	東葛	米 山 あゆみ	ヨネヤマ アユミ	看	医療法人社団圭春会 小張総合病院
21		増 田 智 子	マスダ トモコ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立介護老人保健施設はみんぐ
22	印旛	諸 岡 千賀子	モロオカ チカコ	看	成田赤十字病院
23		工 藤 由 花	クドウ ユカ	看	東邦大学医療センター佐倉病院
24	利根	山 本 美 佳	ヤマモト ミカ	看	医療法人社団明芳会 イムス佐原リハビリテーション病院
25	山武	井 上 純 子	イノウエ ジュンコ	看	地方独立行政法人 さんむ医療センター
26	長夷	亀 田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人SHIODA 塩田記念病院
27	君津	賀 来 かおり	カケ カオリ	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
28	安房	山 岸 智 子	ヤマギシ トモコ	看	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター

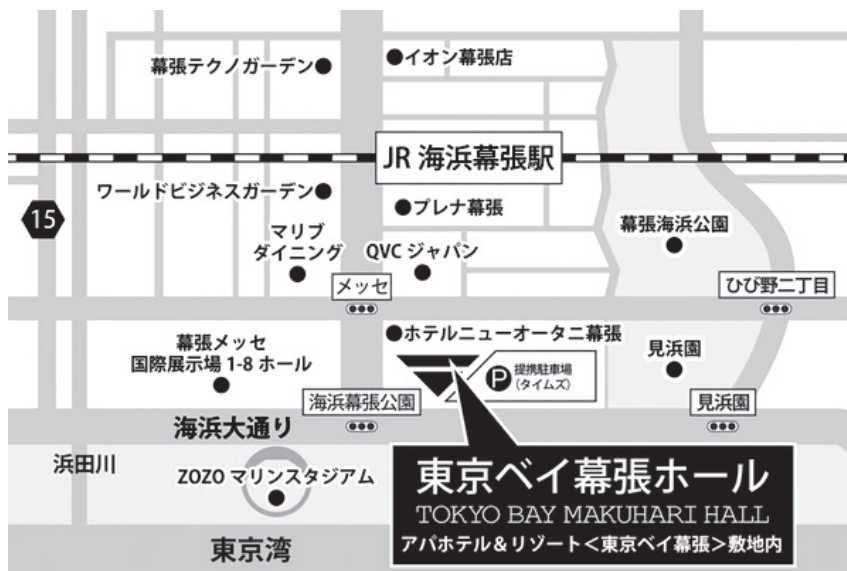
※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。候補者の所属は、令和2年4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所属
1	理事等	浅 野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部
2		内 山 弘 子	ウチヤマ ヒロコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
3		渡 辺 尚 子	ワタナベ ナオコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
4		田 口 真由美	タグチ マユミ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
5		伊 藤 淳 子	イトウ ジュンコ	看	船橋市立医療センター
6		久 保 ひろみ	クボ ヒロミ	看	千葉市立海浜病院
7		鈴 木 美智子	スズキ ミチコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
8	板 倉 妙 子	イタクラ サユリ	准	医療法人社団上総会 山之内病院	
9	千葉	豊 田 明 美	トヨダ アケミ	看	千葉県がんセンター
10		武 井 真寿子	タケイ マジュコ	看	医療法人社団翠明会 山王看護専門学校
11		坂 本 照 美	サカモト テルミ	看	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST病院
12	池 畑 久美子	イケハタ クミコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
13	阿 部 祐 子	アベ ユウコ	助	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	
14	市原	鈴 木 美 香	スズキ ミカ	看	千葉県循環器病センター
15	船橋	土 井 幹	ドイ ミキ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
16		薄 葉 光 子	ウスバ ミツコ	准	医療法人社団一心会 初富保健病院
17		宮 下 智 枝	ミヤシタ トモエ	看	社会医療法人社団千葉勤労者医療協会 船橋二和病院
18	藤 倉 妙 子	フジクラ タエコ	看	船橋市立医療センター	
19	市川	野 沢 順 子	ノザワ ジュンコ	看	医療法人社団嵐川 大野中央病院
20	鈴木 たまえ	スズキ タマエ	看	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	
21	松戸	高 野 ちえ子	タカノ チエコ	看	IMSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
22	東葛	水 口 かおり	ミズグチ カオリ	看	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院
23		佐 藤 秀 子	サトウ ヒデコ	看	医療法人聖峰会 岡田病院
24	印旛	瀬 瀬 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院
25		植 草 恵	ウエクスア メグミ	看	日本医科大学千葉北総病院
26	利根	堀 越 佳 代	ホリコシ カヨ	看	国保多古中央病院
27	山武	渡 辺 郁 子	ワタナベ イクコ	看	医療法人社団徳風会 高根病院
28	長夷	藤 本 孝 子	フジモト タカコ	看	医療法人社団三愛会 君塚病院
29	君津	鳥 飼 紀 子	トリカイ ノリコ	看	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
30	安房	丸 山 祝 子	マルヤマ ノリコ	助	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

候補者の所属は、令和2年4月1日時点の会員登録情報による。

アクセス



東京ベイ幕張ホール 〒261-0021 千葉県美浜区ひび野2-3
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
TEL 043-296-1112 FAX 043-296-1512
JR 京葉線「海浜幕張駅」より徒歩10分